

# CardyDesktop 1.0 ガイド

## for Windows

## 目次

1	はじめに .....	3
1.1	CardyDesktop とは .....	3
1.2	CardyDesktop の主な特徴 .....	3
2	CardyDesktop インストールガイド .....	3
2.1	動作環境 .....	3
2.2	インストール方法 .....	3
2.3	アンインストール方法 .....	4
3	CardyDesktop 操作ガイド .....	5
3.1	起動と終了 .....	5
3.2	データの保存 .....	6
3.3	データの編集 .....	8
3.4	オプション操作 .....	11
3.5	ハンドヘルドとの同期 .....	11
3.6	個々の機能 .....	13
4	CardyDesktop 0.8 beta との相違点 .....	16
4.1	機能追加・変更点 .....	16
5	注意事項 .....	16
6	著作権について .....	16
7	お問い合わせ .....	17

## **1 はじめに**

この度は、CardyDesktop 1.0 にご関心をいただきまして、誠にありがとうございます。

### **1.1 CardyDesktop とは**

Palm ( ハンドヘルド ) 用の単語帳ソフト 「Cardy」のデータを PC のデスクトップ上で編集、管理するためのソフトウェアです。

### **1.2 CardyDesktop の主な特徴**

- ・ HotSync 機能により、ハンドヘルドと CardyDesktop 間で、Cardy データの同期ができます。
- ・ 行の追加、変更、削除、カテゴリ分けの変更を行うことができます。
- ・ カテゴリの追加、変更、削除を行うことができます。
- ・ 作成した Cardy データを、カテゴリ毎に、CSV(カンマ区切りテキスト)ファイルで保存することができます。CSV ファイルを読み込むことができる市販の表計算ソフトでも Cardy データの表示、編集が可能です。

## **2 CardyDesktop インストールガイド**

### **2.1 動作環境**

CardyDesktop 1.0 は、以下の環境で動作確認しております。

- ・ 対応 OS : Microsoft Windows 95, 98, Me, 2000
- ・ Palm アプリケーション : Cardy 1.0 ( Palm デスクトップ HotSync 機能使用 )

### **2.2 インストール方法**

#### **2.2.1 はじめに**

インストールを行う前に、Readme.txt ファイルの内容をお読みください。

#### **2.2.2 インストール**

- 1) Setup.exe を実行し指示に従いインストールしてください。
- 2) その後、Cardy 1.0 がインストールされているハンドヘルドと HotSync を行ってください。  
HotSync を行うことにより、CardyDesktop1.0 のデータ保存用の Cardy10 フォルダとデータファイル Cardy.dat が PalmDesktop のユーザーフォルダ内に作成されます。

セットアップを実行すると、セットアップ時に指定したコピー先フォルダ内に、アプリケーションフォルダ”CardyDesktop10”が作成され、フォルダ内にデスクトッププログラムと同期用プログラムがインストールされます。 また、HotSync 機能に Cardy 用同期プログラムの登録が行われます。

#### CardyDesktop10 フォルダの内容

- CardyDesktop.exe
- Images フォルダ
- CardyDesktopResource\_ja.properties
- CardyCond.dll
- CardyCondReg.exe
- CondMgr フォルダ

アプリケーションフォルダ内インストールされた CardyCondReg.exe はアンインストール時に必要になります。削除したり、別のフォルダに移動・コピーして単独で実行したりしないで下さい。同期できなくなる場合があります。

プログラムを削除する場合は、CardyDesktop 1.0 アンインストールを実施してください。

### 2.3 アンインストール

「スタート」メニューから、「CardyDesktop 1.0」

「CardyDesktop 1.0 アンインストール」をクリックすれば、CardyDesktop がアンインストールされます。

### 3 CardyDesktop 操作ガイド

#### 3.1 実行と終了

##### 3.1.1 実行

「スタート」メニューから、「CardyDesktop 1.0」 「CardyDesktop 1.0」 をクリックすれば、CardyDesktop を実行できます。

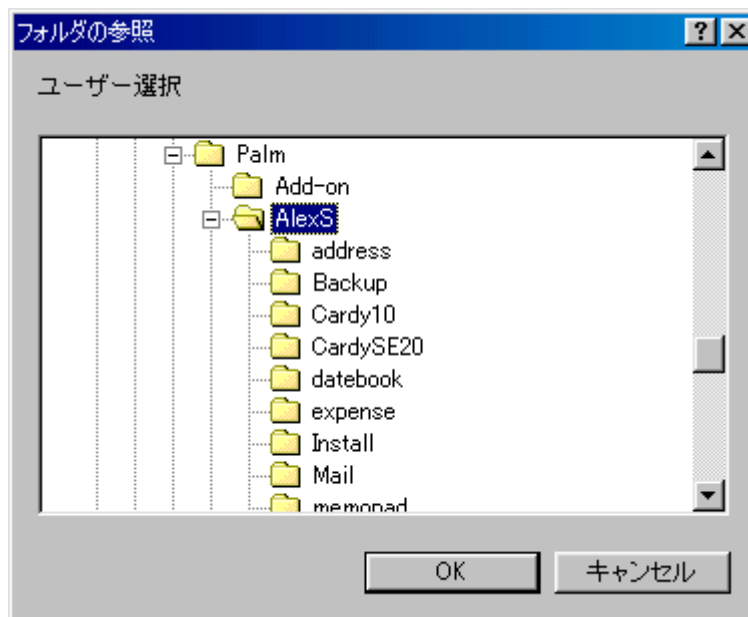
##### 3.1.2 ユーザーの指定

初めて実行した場合、ユーザーを設定するためのメッセージが表示されます。



「OK」をクリックして下さい。

ユーザーフォルダを選択するダイアログが表示されます。



ユーザーフォルダを選択してください。ユーザーフォルダは、Palm Desktop をインストールしたフォルダ下にある、名前がユーザー名のフォルダです。

使用ユーザーを変更する場合は、CardyDesktop の「オプション」メニューから、

「ユーザー選択」を選択し、「ユーザー選択」ダイアログを表示して、使用するユーザー名のフォルダを選択指定してください。

[ ご注意 ]

インストール後、一度もハンドヘルドと HotSync していない場合、デスクトップには Cardy データが作成されていません。HotSync で同期してからユーザー選択を行ってください。

また、ユーザーフォルダ以外のフォルダを選択した場合、デスクトップからの入力ですが、HotSync でデータの同期を行うことができません。

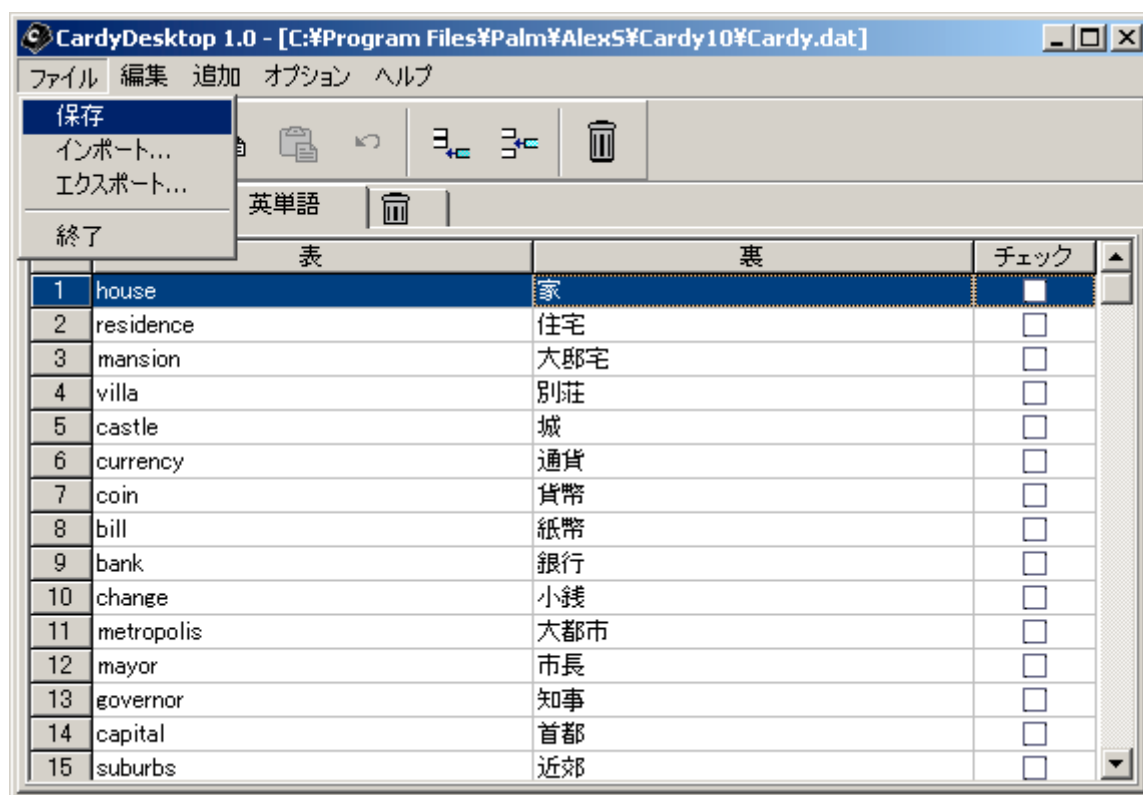
### 3.1.3 終了

「ファイル」メニューから、「終了」を選択すると、CardyDesktop を終了します。

## 3.2 データの保存と取込

### 3.2.1 データの保存

「ファイル」メニューから、「保存」を選択すると、作成、変更した、Cardy データをファイルに保存します。( Cardy.dat )



### 3.2.2 データを外部ファイル ( CSV – カンマ区切りテキスト 形式 ) に保存

エクスポートを使用して、カテゴリ毎に、Cardy データを外部ファイル（CSV - カンマ区切りテキスト 形式）として保存することができます。

エクスポートしたファイルは、CSV ファイルを読み込むことができる他のソフトウェアで 사용할 수 있습니다。

次の「インポート」を行うことにより、編集中の Cardy データにエクスポートで、保存しておいたデータを追加することができます。

データを外部ファイルに保存するには、保存する対象のカテゴリを選択して表示し、「ファイル」メニューから、「エクスポート」を選択してください。

「エクスポート」ダイアログが表示されます。

保存先のフォルダを選択し、保存するファイル名を指定して、「保存」ボタンをクリックしてください。CSV（カンマ区切りテキスト）形式で保存されます。

保存はカテゴリ毎になりますので、すべてのデータをこの形式で保存するには、それぞれのカテゴリを選択して、エクスポートを繰り返し行い、別々のファイルに保存してください。

インポートを行う際にはファイル名をカテゴリ名にすることができます。

### 3.2.3 外部ファイル（CSV - カンマ区切りテキスト 形式）の取込

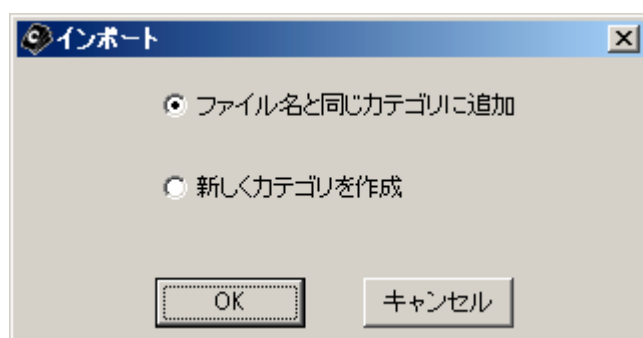
「ファイル」メニューから、「インポート」を選択してください。

「インポート」ダイアログが表示されます。

CSV（カンマ区切りテキスト）形式の Cardy データを選択し、「開く」をクリックしてください。

ファイル名をカテゴリとして指定したファイルからデータを取込みます。

ファイル名と同じカテゴリが既に存在する場合、データの取込み方を選択するメッセージが表示されます。



「ファイル名と同じカテゴリに追加」を選択すると、指定したファイルのデータを取込み、ファイル名と同じカテゴリに追加されます。表示中の、同じカテゴリ内にあるデータと同じデータが、指定したファイル内にある場合も追加されます（重複することになります）ので注意してください。

「新しくカテゴリを作成」を選択すると、新しくカテゴリを作成し、作成したカテゴリに、指定したファイルのデータを取込みます。

「カテゴリの作成」ダイアログが表示されるので、カテゴリをカテゴリ名を入力して、「OK」をクリックしてください。新しいカテゴリにデータが取り込まれます。

取り込むデータは、CardyDesktop でエクスポートしたファイルと同じ形式のデータでなければなりません。

### 3.3 データの編集

#### 3.3.1 アイテムの変更

アイテム（カードデータ行）の内容（表 または 裏）を変更するには、変更したい箇所を表示して、ダブルクリックしてください。値を変更できるようになります。矢印キーで移動し、変更したい箇所の枠が選択された色になっている状態で、[Enter] キーでも変更可能な状態になります。変更を確定するには、他の箇所をクリックしてください。[Enter]キーでも変更を確定することができます。

チェックを変更するには、チェック欄をクリックしてください。クリックする毎に、チェック状態 / 未チェック状態に変更されます。

#### 3.3.2 アイテムの削除

削除したいアイテム（カードデータ行）をクリックして、選択し、「編集」メニューから、「アイテムの削除」を選択してください。指定したアイテムがごみ箱マークのカテゴリへ移動します。

ごみ箱のカテゴリへ移動したアイテムは、「オプション」メニューから、「ごみ箱をからにする」を行うと完全に削除されます。

（ごみ箱の中のアイテムを選択して、「編集」メニューから「切り取り」を行うと、ごみ箱からアイテムを除くことができます。）

ごみ箱の中身を HotSync することはできません。ごみ箱に残っている間は、CardyDesktop でコピーして再利用できます。また、エクスポートも可能です。



[Shift]キーを押しながら上下矢印キーで、複数のアイテムを選択しておく、まとめて削除することができます。

#### 3.3.3 アイテムの追加

カテゴリの最後にアイテムを追加する場合は、「追加」メニューから「アイテム」を選択してください。表示しているカテゴリの最後の行に空のアイテムが追加されます。

アイテムの一覧の途中にアイテムを追加する場合は、「追加」メニューから「アイテムの挿入」を選択してください。指定した行に空のアイテムが挿入されます。

ごみ箱にアイテムを追加することはできません。

#### 3.3.4 アイテムのカテゴリ変更

アイテムを選択し、「編集」メニューから、「アイテムのカテゴリ変更」を選択すると、「カテゴリ変更」ダイアログが表示されます。

変更したいカテゴリをクリックし、「OK」をクリックすると、選択していたアイテムが、指定したカテゴリへと移動します。

変更先のカテゴリを表示して、挿入したい場所を選択してから、アイテムのカテゴリ変更を行うと、移動する場所を指定することができます。

#### 3.3.5 カテゴリ名の変更

カテゴリ自体の名前を変更するには、変更したいカテゴリを選択して、一番手前に表示させておきます。「編集」メニューから、「カテゴリ名変更」を選択すると、「カテゴリ名変更」ダイアログが表示されます。カテゴリ名を入力して、「OK」ボタンで変更します。

カテゴリ「未分類」と、ごみ箱については、名前を変更することはできません。

#### 3.3.6 カテゴリの追加

カテゴリを追加するには、「追加」メニューから、「カテゴリ」を選択します。

「カテゴリの作成」ダイアログが表示されます。カテゴリ名を入力してください。

「OK」で、空のカテゴリが表示されます。

#### 3.3.7 カテゴリの削除

カテゴリを削除するには、次の操作を行います。カテゴリを削除すると、カテゴリに分類されていたアイテムは「未分類」に移動します。

変更したいカテゴリを選択して、一番手前に表示させておきます。「編集」メニューから、「カテゴリの削除」を選択します。

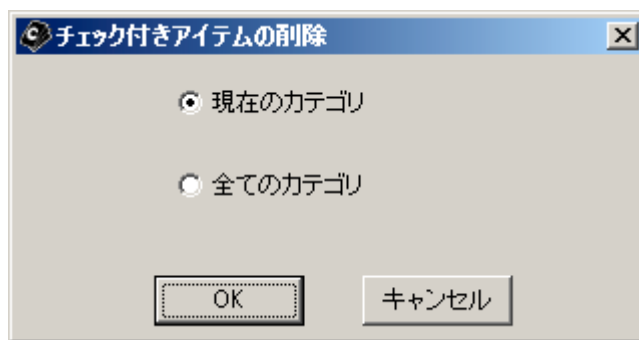
削除するカテゴリにアイテムが分類されているときは、確認のメッセージが表示されます。「OK」でカテゴリが削除されます。

この操作を実行すると、「編集」メニューの「元に戻す」で元に戻すことはできません。また、カテゴリ「未分類」と、ごみ箱を削除することはできません。

### 3.3.8 チェックしたアイテムの削除

チェックを付けたアイテムを一度に削除することができます。

「編集」メニューから、「チェック付きアイテムの削除」を選択すると、「チェック付きアイテム」の削除ダイアログが表示されます。



「現在のカテゴリ」を選択すると、表示中のカテゴリの中で、チェックマークの付いているアイテムが削除され、ごみ箱に移動します。

「全てのカテゴリ」を選択すると、カテゴリに関係なく、チェックマークの付いたすべてのアイテムが削除され、ごみ箱に移動します。

### 3.3.9 その他の編集操作

「編集」メニューにある、「切り取り」「貼り付け」「コピー」は、選択しているアイテムの操作に使用します。アイテムを選択して「切り取り」、配置した場所を選択して「貼り付け」を行うとアイテムを移動します。アイテムを選択して「コピー」し、コピーしたアイテムを配置した場所を選択して「貼り付け」でアイテムをコピーします。

「元に戻す」は、直前に行ったアイテムの移動、コピー、削除、追加、挿入などの操作を元に戻します。

「アイテムのカテゴリ変更」などの操作は元に戻すことができないので注意してください。

「現在のカテゴリの全てのアイテムの選択」は、表示しているカテゴリのアイテムをすべて選択状態にします。すべてのアイテムを選択し、いっぺんに、コピーや削除を行うことができます。

### 3.4 オプション操作

#### 3.4.1 ごみ箱を空にする

「オプション」メニューから、「ごみ箱を空にする」を選択すると、ごみ箱にたまっているアイテムを捨てます。

#### 3.4.2 ユーザーの変更

使用するユーザーの変更を行います。実際は、ユーザーフォルダの指定を変更し、編集対象となるユーザーデータを変更します。

### 3.5 ハンドヘルドとの同期

#### 3.5.1 同期について

HotSync によって、CardyDesktop のデータと ハンドヘルドとのデータの同期を行います。

Palm の HotSync 機能で同期を行います。HotSync の動作設定で Cardy の動作設定を行い、HotSync してください。

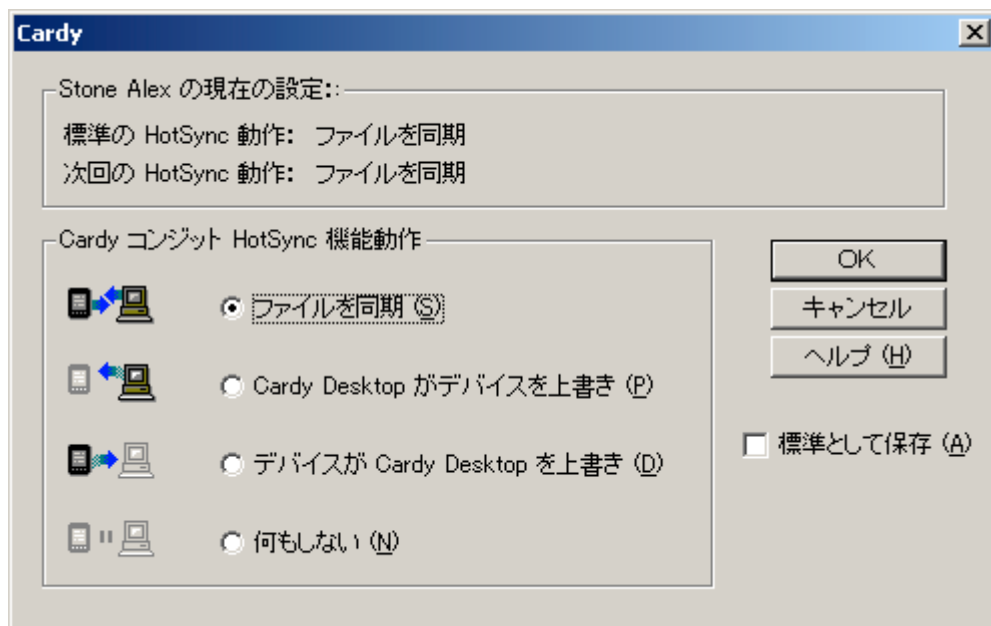
#### 3.5.2 初期状態での同期

デスクトップ側のユーザーフォルダ下に、Cardy10 フォルダ、Cardy データがない状態で同期を実行するとハンドヘルドからデスクトップへデータがコピーされます。

Cardy10 フォルダも自動的に作成されます。

#### 3.5.3 同期の設定

HotSync の動作設定で、「HotSync 機能の動作設定」画面を表示し、表示されるリストの中から、「Cardy」を選択して「変更」ボタンをクリックすると、「Cardy」というタイトルの HotSync 機能の動作設定ダイアログが表示されます。



この画面で同期の種類を選択します。

#### 3.5.4 「ファイルを同期」を設定しているときの同期

Cardy の HotSync 機能動作で「ファイルを同期」を選択指定している状態で、HotSync を行くと、次のようにデータの同期が行われます。

- ・ 前回の同期後、デスクトップ側のみでデータの変更を行っている場合、 デスクトップからハンドヘルドデバイスへデータがコピーされます。
- ・ 前回の同期後、ハンドヘルド側のみでデータの変更を行っている場合、ハンドヘルドからデスクトップへデータがコピーされます。
- ・ 前回の同期後、デスクトップ、ハンドヘルドの両方でデータの変更を行っている場合、デスクトップからハンドヘルドデバイスへデータがコピーされます。  
ハンドヘルド側での変更はすべて無効になります。

カテゴリ自体の変更・カードのカテゴリ変更や、カードにチェックを付けること、カードの追加・削除などもデータの変更になります。

両方でデータを変更する場合は、ハンドヘルド側で変更したデータが元に戻ったり、ハンドヘルド側で追加したデータが消えてしまうことになるので注意して下さい。

#### 3.5.5 「Cardy Desktop がデバイスを上書き」を設定しているときの同期

デスクトップからハンドヘルドへデータがコピーされます。

ハンドヘルド側でデータの変更があってもデスクトップに保存されているデータで上書きされます。

前回の同期後、ハンドヘルド側で追加したデータは消えてしまいます。

#### 3.5.6 「デバイスが Cardy Desktop を上書き」を設定しているときの同期

ハンドヘルドからデスクトップへデータがコピーされます。

デスクトップ側でデータの変更があってもハンドヘルドに保存されているデータで上書きされます。

前回の同期後、デスクトップ側で追加したデータは消えてしまいます。

#### 3.5.7 「何もしない」を設定しているときの同期

Cardy データの同期は行われません。

Cardy データを同期したくない場合か、Palm アプリケーションの Cardy 1.0 をインストールする場合は、「何もしない」にしてください。

#### 3.5.8 別のデスクトップ（PC）での同期

同期しようとしているハンドヘルドが、前回、別のデスクトップと同期している場合、ハンドヘルドからデスクトップへデータがコピーされます。

同期を行ったデスクトップのデータは全て無効になり、ハンドヘルドが前回同期した別のデスクトップのデータと同じになります。

### 3.6 個々の機能

#### 3.6.1 「ファイル」メニュー

##### 1) 保存



Cardy データをファイルに保存します。（Cardy.dat）

##### 2) インポート

CSV（カンマ区切りテキスト）ファイルをインポート（読み込み）します。  
（カテゴリ名.csv）

##### 3) エクスポート

CSV（カンマ区切りテキスト）ファイルをエクスポート（保存）します。  
（カテゴリ名.csv）

##### 4) 終了

アプリケーションを終了します。

### 3.6.2 「編集」メニュー

#### 1) 元に戻す



切り取り、貼り付け、コピー、削除、アイテム挿入などの操作を元に戻します。

#### 2) 切り取り



文字、アイテム行を切り取ることができます。

#### 3) コピー



文字、アイテム行をコピーすることができます。

#### 4) 貼り付け



切り取り、またはコピーした、文字、アイテム行を 貼り付けることができます。

#### 5) アイテムのカテゴリ名変更

選択しているアイテム行のカテゴリを変更ができます。

#### 6) カテゴリ名変更

選択されているタブのカテゴリ名を変更します。

#### 7) アイテムの削除



選択されているアイテムを削除します。

#### 8) チェック付きアイテムの一括削除

チェック付きアイテムを削除します。

#### 9) カテゴリの削除

選択されているタブのカテゴリ名を削除します。

#### 10) 現在のカテゴリの全てのアイテムを選択

現在選択されているカテゴリの全てのアイテムを選択します。

### 3.6.3 「追加」メニュー

#### 1) アイテム



表示中の最後の行に、新しいアイテムを追加します。

#### 2) アイテムを挿入



選択しているアイテムの上の行に、新しいアイテムを挿入します。

#### 3) カテゴリ

新しいカテゴリを作成します。

### 3.6.4 「オプション」メニュー

#### 1) ごみ箱を空にする

ごみ箱をからにします。

#### 2) ユーザー選択

ユーザーの変更をします。

### 3.6.5 「ヘルプ」メニュー

#### 1) バージョン情報

CadyDesktop のバージョン情報を表示します。

## **4 CardyDesktop 0.8 beta との相違点**

### **4.1 機能追加・変更点**

#### **1) ユーザー選択の指定方法**

データファイルの選択から、ユーザーフォルダの選択へ変更になりました。

元に戻す

#### **2) 「元に戻す」の回数**

「元に戻す」を繰り返し行えるようになりました。

## **5 注意事項**

- ・ 本バージョンの CardyDesktop 1.0 に格納可能なレコード総数は 99 です。
- ・ アイテムに入力・表示できる文字数は表裏共に半角で 40 文字までです。
- ・ CardyDesktop をインストールすると、CardyDesktop ディレクトリのパスが Windows レジストリに登録されます。
- ・ CardyDesktop ディレクトリを移動または削除する場合は、CardyDesktop をアンインストールしてから行ってください。
- ・ CardyDesktop 1.0 は、CardyDesktop 0.8 beta とは別アプリケーションになります。  
0.8 beta で使用されているデータは、そのままでは 1.0 で使用できません。  
0.8 beta のデータが必要な場合は、インポート・エクスポート機能を使用してデータを移行してください。
- ・ 既に CardyDesktop 0.8 beta をインストールしている場合、CardyDesktop 1.0 をインストールすると、HotSync 機能の動作設定画面に「Cardy」が 2 つ表示され、別アプリケーションとして、別々に動作します。CardyDesktop 1.0 は Palm アプリケーションの Cardy 0.8 beta と同期することはできませんので、CardyDesktop 0.8 beta をアンインストールしてください。

## **6 著作権について**

- ・ 本ソフトウェアの著作権は、弊社（株式会社ストーンシステム）に帰属します。
- ・ 本ソフトウェアはフリーウェアとして配布いたします。
- ・ 弊社は、本ソフトウェアの使用によって生じたいかなる損害に対しても、一切の賠償責任を負わないものとします。
- ・ 本ソフトウェアの掲載は、内容を変更しない限り、自由に行って構いません。
- ・ 雑誌、書籍などへ添付する場合は、事前にメールなどでご連絡ください。



## **7 お問い合わせ**

- ・ ご意見・ご質問等がございましたら、以下の宛先までお願いいたします。

e-mail : [cardy@stonesystem.co.jp](mailto:cardy@stonesystem.co.jp)

- ・ 弊社ホームページにて F.A.Q.やその他の情報も掲載しております。

URL : <http://www.stonesystem.co.jp/>